



## 小中交流会～「北中の顔」へ！「先輩」へ！～

12/5(金)、矢巾町小中交流会が開催され、来年度入学予定の小学6年生が来校しました。交流会は2年生が対応です。最初に生徒会主体で「生徒会や三大会の紹介」があり、スライドを使いながら紹介。続けて、部長会から「各部の活動」のショートムービー。2年生も含めた出演で各部の様子を伝えました。後半は、北中魂をダブルで！まずは「皐月祭各組応援」発表。そして合唱！「相手が小学生」を意識した「ドラえもん」は全員の振り付き＆ドラえもん・サンタ隊からのプレゼント付き。……特に合唱は「もうすぐ矢北の顔」にふさわしい立派な出来でした。……小学校の先生方等からは「あの人たちがこんなにも立派になったなんて。感動です。」との声。……練習の様子も時々見聞きして、「そこまで」も道のりも大変だったようです。……その様子を見聞きして思います。『中学生って「本気」「真剣」「協力」のレベルを上げるとき。そのために話し合ったり、追い込まれたり、「アメ」を与えたり、しつこいくらいに時間をかけたり、周りに引っ張られたり……そういうことを通して「本気」「真剣」「協力」のレベルが本物になっていく。他に変えられない大事な時間だった。』と。

さて、交流会後の小学生は、1年生の生徒会執行部へ質問タイム。さっきまでの雰囲気が変わり、二人に次々と質問。……逆に言えば、「さっきまでは2年生が『2つ上』を意識していた？今度は1年生なので少しリラックス？」という空気も感じました。質問対応のお二人、ありがとうございました。

交流会の後は、1年生各学級の授業参観。……「おっと！どーしたー!?」というくらい立派。背筋が……道具が……声が……すべて◎。さらに、各教室全体に「学びに向かう空気」があります。中には、机の近くに来た小学生に優しく学習内容を教える姿も。……午後には「疲れた～」と言う人もいましたが、それでいいと思っています。疲れたということは、「自分をコントロールした」「努力した」ということ。筋肉だって、筋肉痛を乗り越えて、鍛えられます。……それぞれが考える「先輩の姿」の経験が、ステップアップにつながることを期待しています。





## チェロとピアノの音色に包まれて～芸術鑑賞教室～

12/5(金)、山口奏さん・満田俊彦さんによる芸術鑑賞教室(小中交流の関係で1・3年生のみ)が行われました。(お二人とも、翌日に紫波町でのコンサート予定がある中、子供たちのために日程を調整していただきました。)

当日は、心地よい音色に包まれ、心がゆったりするひとときを過ごせたのではないかと思います(少なくとも私はそうでした)。また、演奏だけではなく、チェロやピアノの特徴・素晴らしさなど楽器に対する説明や、ご自身の経験も含めながら「人生観」「努力の意味」なども含め、3年生へは進路に向かう励ましも頂きました。その中でのお二人の共通意見。「大事なことはコツコツやること。急にできることはないから。」……よい意味で「一事が万事」です。

お別れの時には、3年生からサプライズの合唱プレゼントも。2ヶ月歌っていない曲を、帰りの会だけで復活。お二人が、大変感動していました。(合唱の出来に私も驚きました。さすが3年生です。拍手でした。)



## 「矢巾」を見つめ、奇える機会に～フリモント町派遣事業報告会～

12/7(日)に、やはぱーくで、フリモント町派遣事業報告会が行われ、本校から参加した似田貝朋加さん、山本陽向子さんが、フリモントで見聞きしてきたこと、感じてきたことを発表しました。(二人とも食文化を中心として経験の発表で、夕食・朝食の違い、普段の給食の意義、「水」の扱いの差[日本の飲料水のよさ]などの発表がありました。)

報告会後は、町内在住外国人から学ぶ「ふれあい広場」に、山本さんが参加。クイズ大会や交流タイムなどで、国際交流を深めました。

どんな体験でも同じですが、お二人の経験が「アッチもいい」「コッチもいい」(それぞれのよさを認める)につながり、日本の、矢巾の、矢北のよさを振り返ることや、さらに高めていくための機会につながることを期待しています



## それぞれの「努力のつぼ」～冬季スポーツも開始！～

◎岩手県中学校スケート大会・スピード競技[12/6(土)7(日)]

【女子】 500m 第2位：田中 稟埜

1000m 第3位：田中 稟埜

※今後、12/19(金)～21(日)に盛岡で開催される東北大会、1/31(土)～2/3(火)に長野で開催される全国大会にも出場します。



## 「冬」が始まりました！ ～子供たちのヘルプに感謝～

12/5(金)、予想以上の初「積雪」となりました。「とけるかな」とは思いましたが、安全上の念のためと思い、雪かきをしていると、次々とヘルプの子供たちが加わり、「あっ」と言う間に完了。拍手です。(当日の小学生出入り口になる体育館前まで)

冬の間、家の前や校地内はもちろん、自宅近くの歩道、道路、近所の高齢者住宅前など、「誰かのため」に力を貸せる生徒が活躍してくれることを期待しています。

